



トラブルシューティング情報

- トラブルシューティング (1 ページ)

トラブルシューティング

ここでは、Hyper-V 展開中に発生した問題のトラブルシューティング情報を示します。

症状またはシナリオ	回避策と推奨事項
ファイル ウィットネス 共有が設定されていません。	フェールオーバークラスタマネージャ (FCM) でファイル ウィットネス 共有を作成し、ウィットネス 共有として構成します。作成された ウィットネス 共有を他の目的で使用しないことをお勧めします。
ストレージ コントローラ VM (SCVM) のタイムアウトを待っています。	<ul style="list-style-type: none">• VLAN ID を手動で設定して再試行するか、• コントローラー VM を削除して、再試行してください。
HX インストーラへの不正な Active Directory クレデンシャルが原因で、HX インストーラがコンピュータをドメインに参加できません。	インストールの「HX Data Platform のインストーラとクラスタ設定の展開」の段階で HX のインストーラを再起動し、正しいクレデンシャルを入力します。
クラスタ内のいずれかのコントローラ VM がダウンしているときに、表示されるノードごとの統計が信頼できないものになります。	いずれかのコントローラ VM がダウンしているときは、Windows 側のカウンタを使用してください。

■ トラブルシューティング

症状またはシナリオ	回避策と推奨事項
クラスタのインストールが正常に完了すると、HX Connect の FQDN アドレスにアクセスできない場合があります。	<p>Windows 2008 のデフォルトの Internet Explorer セキュリティ設定により、FQDN 名を使用した HX 接続のアクセスを防止します。回避策として、次のいずれかが可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Internet Explorer の設定を変更します。 • IP アドレスを使用します。 • Chrome や Firefox などの、サポートされるブラウザを使用します。
コンピューティング専用ノードでは、[HX Connect Dashboard (HX Connect ダッシュボード)] ページでパフォーマンス チャートを使用できません。	これは 1nly ノードです。
<p>次のエラーのために Windows のインストールに失敗しました。</p> <p>システム パーティションを検出できませんでした。</p> <p>さらに、<code>setupact.log</code> では、セットアップにより使用可能なディスクを有効なブート デバイスとして検出できなかったことが示されています。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ブート ポリシーを組み込みディスク (任意) に切り替えます。 2. サービス プロファイルまたはサービス プロファイルテンプレートの場合、<code>compute-nodes-m5</code> ではなく、<code>hx-nodes-m5</code> をミラーリングするブート ポリシーを使用します。
互換性のないプロセッサが原因で移行が失敗しました。	クラスタに異なる CPU タイプを組み合わせて設定することはできません。